

東海道新幹線鉄筋コンクリート構造物維持管理標準

(平成11年7月1日 幹鉄施達第19号 施設部長)

目 次

第1編 総 則

第1章 対策の基本

1.1 適用の範囲	1
1.2 東海道新幹線コンクリート構造物の現状	1
1.3 部位別保守の考え方	2
1.4 劣化対策工法の選定	3
1.5 用語の定義	7
1.6 字句の意味	8
1.7 検査、劣化対策のフロー	9

第2編 検 査 編

第1章 一般検査

1.1 一般	11
1.2 一般検査項目	11
1.3 一般検査の判定区分	12

第2章 精密検査

2.1 一般	14
2.2 経年劣化状態の詳細調査	15
2.2.1 一般	15
2.2.2 検査項目	15
2.2.3 検査方法	17
2.3 構造的劣化の確認	22
2.3.1 一般	22
2.3.2 検査方法	23
2.4 施工環境の把握	27
2.5 既塗装箇所の把握	27
2.6 写真撮影	28
2.7 コア採取による中性化深さ測定・塩分含有量の測定	30
2.8 優先順位の見直し	30

第3章 施工時検査

3.1 一般	31
3.2 確認方法	31
3.3 検査結果の判定と既塗装箇所の評価	32

第4章 検査結果の記録

4.1 検査結果の記録	33
-------------	----

4.2 施工情報の記録	33
-------------	----

第3編 施工編

第1章 材料

1.1 一般	35
1.2 劣化対策工の選択基準	36
1.3 劣化対策工の仕様	37
1.4 劣化対策工の機能	39
1.5 コンクリート保護材の品質規格及び試験方法	40
1.5.1 品質規格	40
1.5.2 試験方法	44
1.5.3 色彩設計	56
1.6 断面修復材	57
1.6.1 品質規格	57
1.6.2 試験方法	57
1.7 鉄筋防錆剤	62
1.7.1 品質規格	62
1.7.2 試験方法	63

第2章 施工

2.1 劣化対策の施工フロー	65
2.2 共通事項	67
2.3 漏水対策工	69
2.4 素地調整工	71
2.5 はつり工	74
2.6 鉄筋防錆工	76
2.7 断面修復工	78
2.8 コンクリート保護工	80
2.8.1 下地処理工	81
2.8.2 ライニング工	82
2.9 既塗装箇所の処理	87
2.10 再塗装	87

参 考 資 料

1. 一般検査の設問(例)	1
2. 経年劣化の変状事例	3
3. 自然劣化の変状事例	4
4. 個別検査記録簿の例	7
5. ひび割れ注入材の品質規格及び試験方法	8
6. 低温時での劣化対策工の施工に対する注意点	15
7. 隣接した箇所におけるコンクリート保護工施工時の注意事項	17
8. JIS K 5400 9.8.1 サンシャインカーボンアーク灯式(2002.4.廃止)	18
9. 表面保護工既塗装箇所の施工方法	20

参 考 文 献